

農閑期だから
できること

ゆっくり物事を考えてみよう!



戸別保証制度

環境問題

21年産米について

明けましておめでとございます。皆さま方には、それぞれよい年をお迎えのことと観察し致し、お慶び申し上げます。

昨年は世界的にも日本の国内でも、政治も経済も激動の年であり、歴史の転換点を実感する年になりました。

しかし、総ての問題や課題がより明確な形として表面化しただけであり、残念ながらそれらに対する本質的・根本的な解決が計られず、しつかりとした方向性が見えたわけではなく、総てが緒についただけだといわざるを得ないでしょう。

地球温暖化対策や核兵器の廃絶にしても人類共通の願いであり、総論としては異論がないのではありませんが、いざ具体論になると様々な主義・主張や利害の対立があつて一朝一夕には進展しそつにもありません。人類の存亡そのものがかかっているはずなのですが、悲しいことに現実には厳しいものがありそうです。

農業問題にしても同様です。ようやく新政権による「戸別所得保証制度」の内容が見えてきましたが、皆さま方のご感想はいかがでしょうか。私としては前から申し上げているように、日本の農業と食糧自給率向上の将来展望が少しでも透けて見えているかという点が一番気にかかっていたのですが、何もかも一気に解決の道筋をつけることは無理な話でしょう。

あらゆる事柄を自国の都合だけで決定できない、むしろ決定してはならない時代であり、直接には財政事情に規定されてしまう現状の中では、時間はかかっても粘り強く内外の合意形成を計りながら方向を見出していくことが重要でしょう。

さて、皆さま方の地域では今冬の雪はどうだったでしょうか。各地のスキー場では久々に年末からの営業が可能になったというところで、期待が高まったようですが、荒天続きでスキー客の入りは伸び悩んだようです。柏崎・刈羽地域では降り始めは早かったものの、一日の降雪量も比較的少なく中休みもあつて、先のこ

とはわかりませんがこんな状態が続いてくれればまあまあ冬だと喜んでいきます。それでも屋根を張りつぱなしで農機具や資材保管用の育苗用のビニールハウスは屋根下を2回除雪しました。初雪にはありがちですが、2回の雪はいずれも量はともかく水分をたっぷり含んでいて、予想以上に重い雪でした。つぶれてしまったビニールハウスや杉の芯がとんだり、庭木が枝折れしてしまつたものが目立ちます。平地はともかく、山間地域では2mを超えて積雪があると報じられていますので除雪等でご苦労されておられることでしょう。

しかし、雪は宝です。山間地に降り積もつた雪が春先から徐々に溶け出し、農業用水として特に稲作には大きな恵をもたらしてくれます。稲作だけの私は水田の土が見えるうちは何をしなればならないと言つこともないのですが落ちて着かず、農地が総て白い雪に覆われてしまつたなせかホツトして安心できるのは不思議です。

また、冬期間も様々な作業に追われてご苦労をされている方もおられると思います、私などは冬ごもりの

自分の米で「米粉」してみませんか?

米粉 委託製粉 いたします!

加工量 1kg **150円**

白米にしてお持ち込みください

- 製粉すると水分が蒸発するため、歩留まりが10%程落ちます。
- 白米の状態では水分は15%以下でお持ちください。
- 異物は除去してきてください。混入が多い場合はお断りさせていただきます。(着色米やクサネムもそのまま製粉されます)
- 1回の製粉量は5kg以上でお願いいたします。

詳しくはご連絡ください 0258(66)0070

(内山常蔵記)

品質管理講習会を行います

日時：平成22年2月18日(木)午後1時～4時
場所：長岡市中之島文化センター 2階視聴覚ホール

らでいっしゅばーや(株)の上甲氏、Radixの会の後藤氏、イカリ消毒(株)の後藤氏から「生産者の品質管理を目指そう」というテーマで講演していただきます。

詳しくは同封の別紙をご覧ください